

## 世界的なSRI評価会社「RobecoSAM(ロベコサム)社」による サステナビリティ格付けで3年連続「Gold Class」に選定 「Industry Mover」にも同時認定

積水ハウス株式会社（社長：仲井嘉浩、本社：大阪市北区、以下「積水ハウス」）は、2月1日（木）、世界的なSRI（社会的責任投資）評価会社であり、投資家向けに企業情報を提供するスイスの調査機関「RobecoSAM（ロベコサム）社」によるサステナビリティ評価「RobecoSAM Sustainability Award 2018」のHomeBuilding（住宅建設）部門で最高位の「Gold Class」に3年連続で選定されました。

同時に、住宅建設部門において前年比でスコアの改善幅が最も大きかった企業として「Industry Mover（インダストリームーバー）」にも認定されました。

ロベコサム社は世界の大手企業約2,500社を対象に、60の産業セクターごとに「経済」「環境」「社会」面での取り組みを評価し、そのうち特に優れた企業を「Gold Class」に選定しています。今回「Gold Class」に選定されたのは世界で73社であり、そのうち、日本企業は5社です。



**ROBECOSAM**  
Sustainability Award  
Gold Class 2018



**ROBECOSAM**  
Sustainability Award  
Industry Mover 2018

なお、当社は、ロベコサム社とアメリカのS&P Dow Jones Indices社による、財務面だけではなく、環境面や社会面などからも企業を評価するESG投資の代表的な株式指標の一つである「Dow Jones Sustainability World Index (DJSI World)」の構成銘柄に2年連続で選定されるとともに、住宅建設部門において世界で最も評価が高い企業として「Industry Leader」、また、アジア太平洋地域の構成銘柄「Dow Jones Sustainability Asia Pacific Index (DJSI Asia Pacific)」にも選定されています。

MEMBER OF

**Dow Jones**  
**Sustainability Indices**

In Collaboration with RobecoSAM

E（Environment）S（Social）G（Governance）に代表される非財務情報への注目は年々高まっています。

積水ハウスグループは、企業理念「人間愛」を礎に、社会の変化やニーズに即応し、「住まい」を通じて価値を創造・提供してきました。2005年には、「持続可能な社会」をビジョンとして定義し、これを実現・検証するため「環境」「経済」「社会」「住まい手」という「4つの価値」によるバランスのとれた経営を目指すことを宣言。その後も社会動向やニーズに対応する新商品・新技術開発を加速させて「4つの価値」を創出してきました。これからも共有価値の創造を継続していくことで、持続可能な発展を目指すとともに、持続可能な社会の実現に取り組んでいきます。